

# お手入れと保存



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電やけが、やけど、故障の原因になります。  
お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。  
変形、変色の原因になります。

特に水以外のもので作ったときは、早めに、念入りにお手入れをしてください。

## 本体をお手入れする

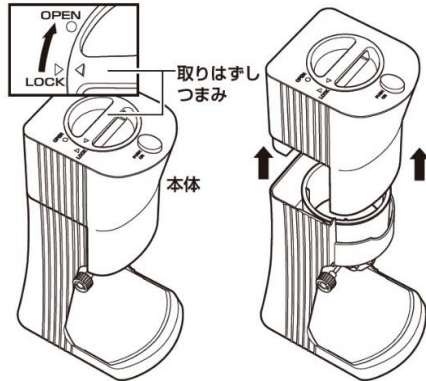


本体は絶対に水につけない。  
故障ややけどの原因になります。

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

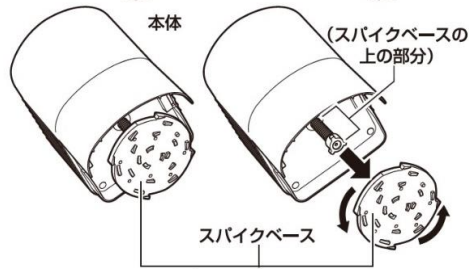
### 1. 最上部の取りはずしつまみを回し、スタンドをしっかりと押さえて、スタンドから本体を取りはずす

OPEN 側に回して取りはずします。



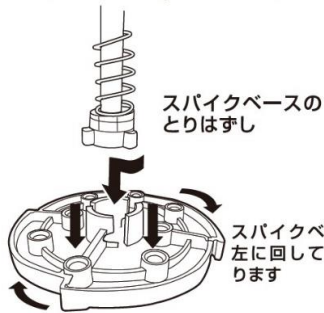
### 2. スタンドから本体をはずし、本体からスパイクベースをはずす

平らな場所に、本体の側面部を下にして置きます。スパイク部に十分気をつけ、スパイクベース裏側を見て、スパイクベースを左に回し、取りはずしてください。



### 3. 本体を乾いたふきんで拭く

スパイクベースの上の部分など、水滴が残らないように拭き取ってください。  
汚れがひどいときは洗剤を含ませたふきんをしっかりとしぼってから使用して、汚れが取れたら、乾いたふきんでから拭きしてください。

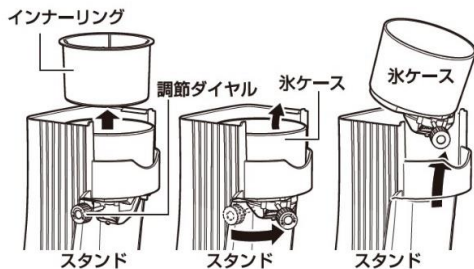


## 本体以外をお手入れする

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

### 4. 氷ケースからインナーリングをはずし、スタンドから氷ケースを取りはずす

氷ケースを取りはずすときは、氷ケースを持ち、氷ケースを浮かし、調節ダイヤルを正面に向け、氷ケースを取りはずします。



### 5. 取りはずしたスパイクベース、スタンド、氷ケース、インナーリング、製氷カップ、すべて水洗いをする

本体以外すべて水洗いをしてください。  
汚れがひどいときは、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。

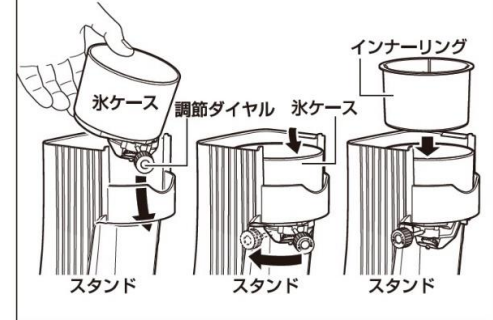


刃やスパイク部にはふれない。  
鋭利なため、けがをすることがあります。  
氷ケースの刃の部分は分解しない。  
ギア部にはふれない。  
指をはさむなど、けがの原因になります。

### 6. 水洗いしたあと、十分に乾燥させて、元通り組み立てて保存する

刃の部分については、「刃の部分のお手入れ」をご覧ください。

氷ケースをスタンドに取り付ける  
調節ダイヤルを正面に向けてスタンドの枠に通し、調節ダイヤルを左側に移動させて取り付けます。  
そのあとインナーリングを取り付けてください。



## 刃の部分のお手入れ

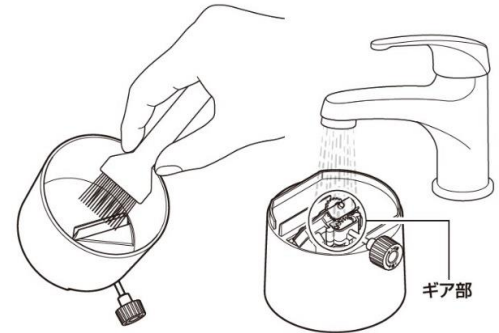
### 1. 氷ケースの刃には直接手をふれないように付属のブラシを使い、水洗いをしてふきんなどの上に置いて完全に乾かす

### 2. 乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。



刃やスパイク部にはふれない。  
鋭利なため、けがをすることがあります。



## 長期保存のしかた

長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾かしてから箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

※十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。

## 長年ご使用の氷かき器はよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源プラグ、電源コードが異常に熱い。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。